

今年の梅雨は、沖縄/奄美/九州南部のあと九州北部/四国/中国/近畿/東海を飛び越えて関東で先に明けてしまいました。このまま梅雨明け宣言する間もなく、福岡その他の地域では豪雨や崖崩れ、竜巻など昨年を凌ぐ異常気象(去年の9月訓示をご覧ください)に怯えながら、盛夏突入を迎えそうな気がしています。処で、梅雨は東北地方までで、北海道には存在しないのをご存知でしたでしょうか？言葉としては蝦夷梅雨と言うのがあるにはあるようですが、、我々の知っている梅雨とは全く違い、ほんの2週間くらいグズついたはっきりしない天気が続くだけのようです。

先月の大災害前の7/22の46年振りのトカラ列島”皆既日食”のテレビ中継には感動しました。こちらの誠愛リハビリ病院玄関前で観察できた、患者さんのX線フィルム越しに映し出された幻想的な部分日蝕も、なかなかのものでしょう、皆さん？(10:55頃のpartial solar eclipse ;当院の医事課職員が撮影)。



患者さんたちも珍しそうに、黒い下敷きや日食観察用のサングラスを透かして、キャーキャーはしゃぎながらご覧になっておられました。実を言いますと、ちょうど総回診の真っ最中に何となく外が暗くなったので、医師、看護師、セラピストの人たち皆で回診を中断し、階下の病院玄関前に出て交代で観察してしまいました。次に皆既日食が訪れるのは、北陸地方を中心に26年後だそうです；もう一つ驚いたことは、日食が近づくと真っ暗でもないのに、動物園のフラミンゴなど動物たちの活動が鈍ったり入眠したり、さらには気温も下がり蝉が鳴き止んだり、正に神秘的で不思議な現象を知り一部体験したことです。

自然界には、これ以上の様々な珍現象が存在するのですが、我々が知らず知らずの内に見逃していることも恐らく沢山ある筈です。前述の異常気象のように、元はと言えば人間が自然を破壊し人工的なものを作り出したことが原因で起こっているもの、写真に見る日食のように宇宙エネルギーが偶然にしかもチッポケな人間にはお構いなしに周期的に造り出しているもの、などなど。短い人生なので色んなものを目一杯観察し感動したいと思いつつも、毎日同じ道順で家-病院間を往復するばかりで、頭も身体も鈍(なま)って来ている自分をここいらで心身ともにre-habiliならぬre-shape upしないと行けませんネ。